

令和元年度 FD・SD ウィークの実施結果について（報告）

高知大学大学教育創造センター

1. FD・SD ウィークの趣旨と目標

【趣旨】教育改善に関する教職員の意識改革の一環として、従来の相互授業参観を見直し、各学部等 5 授業程度を選んで公開授業とし、授業参観の機会を増やす。これによって

- (1) 授業公開者の授業改善を行う。
 - (2) 授業参観を通じて参観する側の教員が授業についての内省を通じた教育改善を図る。
 - (3) 職員は授業参観を通じて、大学の授業について理解する第一歩とし、業務への反映を図る。
- ことをめざす。

【目標】

(1) 授業公開教員

参観者から得たフィードバックをもとに、次年度以降の授業改善を行う。

(2) 授業参観教員

参観した授業から得られた気づきや新たな教授法などを参観者が内省し、自らの授業改善・教育改善に活かしていく。

(3) 職員

公開授業を参観することで、本学が行う教育の一端に触れ、日常の業務に反映させていく。

2. 実施期間と開講科目数

期 間：令和元年 6 月 12 日（火）～令和元年 7 月 25 日（木）

科目数：40 科目（延べ 105 回開講 ※e ラーニング科目は 1 回として集計）

3. 参加者数（参観申込者数、授業参観記録登録者数）

本年度の、FD・SD ウィークの授業参観は、Web ページ上の集計で教職員合わせて延べ 343 人（教員 104 人、職員 239 人）の申し込みがあり、参観後の授業参観記録登録者数は延べ 273 人（教員 81 人、職員 192 人）であった。

（昨年度実績：申込者 328 人（教員 67 人、職員 261 人）、授業参観記録登録者 280 人（教員 58 人、職員 222 人））

科目ごとの参観申込者数及びコメント登録者数（延べ人数）

| No. | 時間割コード | 科目名 | 参観申込者数 | | | コメント登録者数 | | |
|-----|--------|----------------------------------|--------|-----|-----|----------|-----|-----|
| | | | 教員 | 職員 | 計 | 教員 | 職員 | 計 |
| 1 | 01071 | 大学基礎論 | | 1 | 1 | | 1 | 1 |
| 2 | 01104 | 課題探求実践セミナー（自由探求学習Ⅰ） | 2 | | 2 | 2 | | 2 |
| 3 | 01902 | 課題探求実践セミナー（医学科） | | 1 | 1 | | 1 | 1 |
| 4 | 02001 | 倫理を考える | 2 | 7 | 9 | 2 | 7 | 9 |
| 5 | 03052 | 障害者支援入門 | | 13 | 13 | | 12 | 12 |
| 6 | 03071 | 働き方改革と職業生活を考える | 3 | 77 | 80 | 3 | 58 | 61 |
| 7 | 06620 | スポーツ科学講義 | 1 | 3 | 4 | 1 | 3 | 4 |
| 8 | 06622 | スポーツ科学実技A | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 |
| 9 | 07152 | 大学生活入門 | 6 | 6 | 12 | 3 | 5 | 8 |
| 10 | 07153 | アクティブラーニング入門 | 8 | 7 | 15 | 4 | 3 | 7 |
| 11 | 25011 | 東洋史概論Ⅰ | 2 | 11 | 13 | 1 | 9 | 10 |
| 12 | 27121 | 中国言語文化論 | 2 | 4 | 6 | 2 | 3 | 5 |
| 13 | 28000 | ミクロ経済学Ⅱ | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | 3 |
| 14 | 28017 | 財政学 | 1 | 7 | 8 | 1 | 4 | 5 |
| 15 | 41120 | 表現（音楽） | 3 | 2 | 5 | 3 | 2 | 5 |
| 16 | 42505 | 日本画応用 | 7 | 6 | 13 | 6 | 4 | 10 |
| 17 | 42713 | 電気実習 | | 1 | 1 | | 1 | 1 |
| 18 | 42907 | 英米文学概論 | 1 | | 1 | 1 | | 1 |
| 19 | 44454 | 知的障害心理学 | 3 | 5 | 8 | 3 | 5 | 8 |
| 20 | 51103 | 医科物理学Ⅰ | 1 | 3 | 4 | 1 | 3 | 4 |
| 21 | 51106 | 医科生物科学Ⅰ | | 7 | 7 | | 5 | 5 |
| 22 | 51322 | 臨床倫理 | | 9 | 9 | | 9 | 9 |
| 23 | 52109 | 栄養と代謝 | | 17 | 17 | | 16 | 16 |
| 24 | 60013 | 社会調査論 | 4 | 1 | 5 | 3 | | 3 |
| 25 | 60041 | 社会教育論 | 2 | 9 | 11 | 2 | 8 | 10 |
| 26 | 60051 | 農業振興論 | 1 | 5 | 6 | 1 | 5 | 6 |
| 27 | 70552 | 理工学英語ゼミナールⅠ | 5 | | 5 | 5 | | 5 |
| 28 | 71120 | 初等複素解析 | 2 | | 2 | 1 | | 1 |
| 29 | 72107 | 計算機システム学 | 6 | 1 | 7 | 5 | | 5 |
| 30 | 73118 | 地球表層動態学 | 3 | | 3 | 1 | | 1 |
| 31 | 74125 | 物理化学演習 | 7 | | 7 | 5 | | 5 |
| 32 | 77102 | 地球惑星科学 | 1 | 6 | 7 | 1 | 5 | 6 |
| 33 | 81080 | 森林土木学 | 5 | 11 | 16 | 5 | 9 | 14 |
| 34 | 81106 | 食料品質評価学 | 2 | 3 | 5 | 2 | 3 | 5 |
| 35 | 82003 | 基礎分析化学 | 2 | 2 | 4 | 1 | 1 | 2 |
| 36 | 82005 | 基礎有機化学 | 1 | | 1 | 1 | | 1 |
| 37 | 83002 | 海洋地球科学概論 | 10 | 9 | 19 | 5 | 6 | 11 |
| 38 | 92001 | Public Speaking in English | 1 | | 1 | 1 | | 1 |
| 39 | 92002 | English for Global Communication | 7 | 3 | 10 | 6 | 2 | 8 |
| 合計 | | | 104 | 239 | 343 | 81 | 192 | 273 |

4. 授業参観記録

授業参観後に、参観者が Web 上で授業参観記録を作成した。その質問項目（記述コメントおよび選択回答）と回答の要旨を以下に示す。

【教員】

（１）参観した授業について、教員の授業方法や学生の学習形態等について、特に印象に残ったことはどんなことですか。（自由記述式）

本年度の公開では、設問で求められている授業方法に関して、授業の組み立て、導入方法、途中のブレイク方法、資料（パワーポイント、板書、提示方法）、事前課題の出し方など授業方法や構成に着目された記述が多くみられたことが特徴であった。このような記述は、年々増えている。

また、昨年度に続き、資料の内容、提示方法、時間設定など具体的な教授方法に関わる記述が多かった。中には、授業外学修時間、e-learning に関わる認識の捉えなおし、反復視聴の可能性など、e-learning の効果に関わる記述がみられた。

（２）授業を参観して、あなたが実施している授業方法や学生の学習形態等についてあらたに気づいたことはどんなことですか。（自由記述式）

自己の授業方法を取り上げながら、説明方法、繰り返し説明することの大切さ、学生を飽きさせない工夫、知識伝達型の講義方法からの脱却などの記述が多くみられた。学生に理解させるための、わかりやすい授業、学生の学習意欲などに関わる記述もあった。この設問では、他の先生の参観授業を通して、自己の授業方法と比較し、内省的に振り返る記述が多くみられ、一定の成果を得られたと捉えることができる。

（３）参観した授業での授業方法や学生の学習形態等で、自分の授業にも取り入れてみたい、あなたの授業に取り入れることが可能だと思うことはどんなことですか。（自由記述式）

本年度は、双方向の授業づくり、学生を授業に参加させるための工夫、授業外学修の促し方、資料づくり、小テスト、教員の話し方など細部にわたって観察されたコメントが多く、そのほとんどは、自己の授業との比較検討からのコメントであった。授業の技法・手法に関わるコメントが多く、自己の授業への取入れにむけて授業参観された様子がよく伝わるものであった。

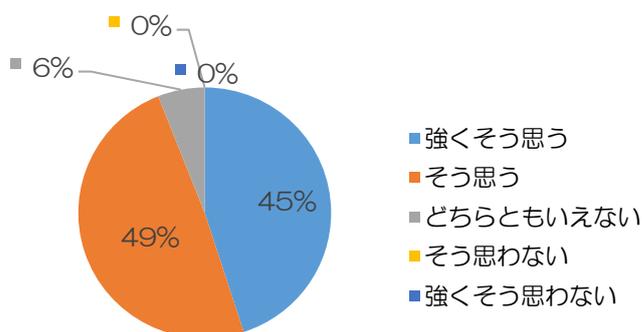
（４）参観した授業の授業方法や学習形態について、授業担当者へのコメントがあれば書いてください。（自由記述式）

授業参観へのお礼とともに、授業のどこが良かったなどを具体的にコメントされたものが多くみられた。同じ教員であるという立場からのアドバイスや助言的なコメントであり、授業公開者にとって有益なものであったと考えられる。

（５）この取組は、あなたの授業改善や教員としての意識改革に役立つものでしたか。（５段階択一式）

94%が肯定的な回答をしており、本取組は、意識改革に役立つものであったことが伺える。

(5) この取組は、あなたの授業改善や教員としての意識改革に役立つものでしたか。



| | 度数 | 割合 |
|-----------|----|-----|
| 強くそう思う | 36 | 45 |
| そう思う | 39 | 49 |
| どちらともいえない | 5 | 6 |
| そう思わない | 0 | 0 |
| 強くそう思わない | 0 | 0 |
| | 80 | 100 |

【職員】

(1) 参観した授業で、講義の教育方法や学習形態等について、特に印象に残ったことはどのようなことですか。(自由記述式)

学生への動機づけ、グループワークの導入など学生の参加を促す手法、学生を授業に集中させる方法、KULASを用いた授業、ICTを活用した双方向型授業などに関する意見が多くみられた。実際のアクティブ・ラーニングを見ることを通して、アクティブ・ラーニングが理解できたなどのコメントも寄せられていた。

また、e-learningの授業について、利点を見出すコメントが多く、スマホやPCを活用して、どこでも授業を受けることのできるメリット、授業教材の作り方、小テストを活用して学生を飽きさせない工夫などが挙げられていた。対面授業に加えて、新しい学習形態であるe-learningについて理解してもらえる好機になったようである。

(2) 参観した授業で、学生の様子について気がついたことはどのようなことですか。(自由記述式)

学生の様子について、授業への遅刻、途中退出、まじめにノートを取らない学生がいたこと、授業中にスマホ、パソコンを操作して授業に関係ないことをしている、居眠りするなど、授業に向き合っていない学生に関わる記述がみられた。また、教室にごみが散乱しているなどの学習環境についての記述もみられた。しかし、一方で、授業を真面目に受けている学生、前の方に着席し真剣に授業を受ける学生、挙手し主体的に学んでいる学生、メモを取りながら授業を受ける学生の様子を捉えた記述もみられた。全体としては、前半にあるような授業に対するネガティブな受講態度の記述よりも、後半の授業に積極的に向かう学生を捉えたコメントの方が多く寄せられていた。

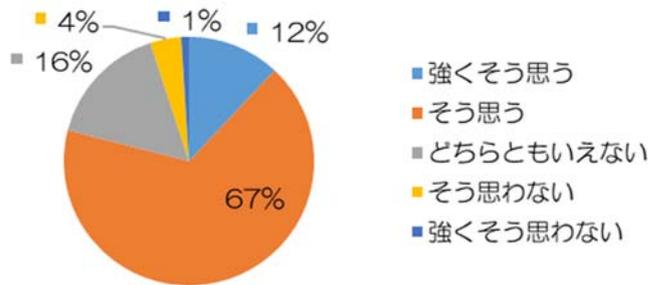
(3) 参観した授業について、授業担当者へのコメントがあれば書いてください。(自由記述式)

授業参観のお礼や、授業内容が有益であることと、学生に必要な知識であることなどのコメントが見られた。また、昨年度に引き続き、授業内容に関心があるとのコメントも多く寄せられていた。個人の業務に関わる内容であったことや、プレゼン等に活用できる内容だったなどのコメントもみられ、SDとしての授業を活用することについても示唆されるコメントがみられた。

(4) 参観が行われた教室の環境の整備や設備について、学習に適していると思いませんか。(5段階択一式)

79%が、肯定的な回答をしており、否定的な回答は5%であった。どちらともいえないという回答は16%であった。

(4) 参観が行われた教室の環境の整備や設備について、学修に適していると思いませんか。

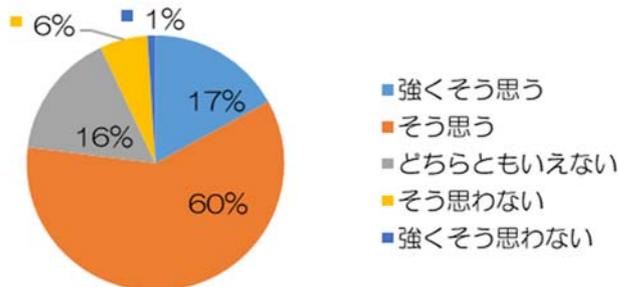


| | 度数 | 割合 |
|-----------|-----|-----|
| 強くそう思う | 22 | 12 |
| そう思う | 126 | 67 |
| どちらともいえない | 31 | 16 |
| そう思わない | 7 | 4 |
| 強くそう思わない | 3 | 1 |
| | 189 | 100 |

(5) 授業を参観して、高知大学の教育（授業）を自らの業務に関連づけて考えましたか。(5段階択一式)

昨年度の肯定的回答は、65%であり、本年度は、77%と伸びていた。したがって、昨年より自らの業務に関連付けて参観した職員の増加がうかがえる。今後、具体的に関連づけに結びついた状況について検証を深めていきたい。

(5) 授業を参観して、高知大学の教育（授業）を自らの業務に関連づけて考えましたか。

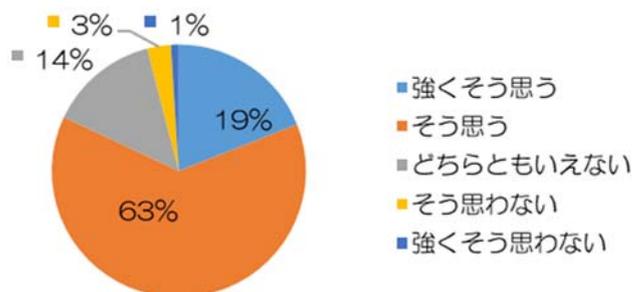


| | 度数 | 割合 |
|-----------|-----|-----|
| 強くそう思う | 33 | 17 |
| そう思う | 116 | 60 |
| どちらともいえない | 31 | 16 |
| そう思わない | 11 | 6 |
| 強くそう思わない | 1 | 1 |
| | 192 | 100 |

(6) この取組はあなたの大学教育への理解の促進や、大学職員としての自分を見つめ直す機会となりましたか。(5段階択一式)

昨年度は 75%であり、本年度は 82%と伸びていた。本取組が、職員の大学教育への理解促進、自己の業務を見つめなおす機会につながっていることが明らかになったといえる。

(6) この取組は、あなたの大学教育への理解の促進や、大学職員としての自分を見つめ直す機会となりましたか。



| | 度数 | 割合 |
|-----------|-----|-----|
| 強く思う | 37 | 19 |
| そう思う | 120 | 63 |
| どちらともいえない | 27 | 14 |
| そう思わない | 6 | 3 |
| 強く思わない | 1 | 1 |
| | 191 | 100 |

(7) (4) ~ (6) の回答の理由や、来年度の本取組の実施に向けての忌憚のないご意見・ご要望をお聞かせください。(自由記述式)

大学職員の中には、授業や学生に接する機会がない部署に勤務する者もあり、本取組のような教育活動の一端である授業を参観することにより、大学に関わる知識理解を深める好機になったことがうかがえる記述や本取り組みを継続してほしいとの要望が多く寄せられていた。さらに、教員の教育活動を理解できたというコメントも見られた。しかし、一方では、参観することへの意義が見いだせないなどの否定的なコメントも見られた。4年目を迎え、本取組を見直し再検討する時期にきたことが示唆される。

5. 成果について

参観後のアンケート調査の結果から、本企画の趣旨や目標に対する成果として、次のようにまとめられる。

【授業公開教員】

授業公開教員からは、参観者からのネガティブなコメントも含め、次年度以降の授業改善や、自身の成長の糧になるものであったとのコメントが寄せられており、授業改善のためのヒントを得られる機会となったことがうかがえた。

【授業参観教員】

授業参観は意識改革に役立つものであったかという問いに、94%の肯定的な回答が寄せられており、昨年度も95%の肯定的な回答比率であったことから、本取り組みは一定の効果を得ることができていると考えられる。本年度は、授業に関わる具体的な技法・手法に関わるコメントが多く寄せられていることから、授業参観を重ねてきたことにより「授業を見る」観察力の向上がうかがえるものであった。また、設問の性質から、自己の授業と比較し授業を見る視点からの内省的なコメントが多く寄せられており、一定の成果があったことがうかがえる。

【職員】

授業や学生に直接かわからない部署の職員が、授業参観を行うことによって、大学教育の教育活動の一つの要である授業を通して、学生の現状をとらえることができ、本学の教育活動への理解促進につながったと考えられる。

また、本取組の回数を重ねていくことにより、複数の学部の授業、様々な授業形態を知り、他の参加者のコメントを相互閲覧することによって、「授業を見る目」が洗練されてきたことがうかがえるコメントも見られた。